

令和5年9月6日
国土交通省 中部地方整備局令和5年度 中部地方整備局入札監視委員会
総会及び第一部会第1回定例会議を開催しました

－ 議事及び審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱により設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

総会については以下のとおりです。

また、第一部会第1回定例会議については、令和4年度下半期(令和4年10月から令和5年3月まで)に発注した工事等の中から抽出した9件の事案について審議を行いました。内容については「表1」のとおりです。

○ 令和5年度 中部地方整備局入札監視委員会 総会

- 開催日時及び場所
日 時：令和5年8月8日(火) 14時00分～14時15分
場 所：名古屋合同庁舎第2号館 6階 中部地方整備局会議室
- 議事概要
(1) 委員長の選出及び委員長代理の指名
「3. 委員名簿」のとおり、委員の互選により委員長が選出され、委員長により委員長代理が指名されました。
(2) 委員の所属部会の指名
「3. 委員名簿」の()書のとおり、委員長により委員の所属部会が指名されました。
(3) その他
中部地方整備局入札監視委員会規則第2条第4号に基づき、中部地方整備局長が抽出した事案を、委員抽出事案とともに各部会で審議することとした。
- 委員名簿 (委員は五十音順)

委員長 (第一部会)	ふじた もとひろ 藤田 素弘	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授
委員長代理 (第二部会)	まつだ たかふみ 松田 貴文	名古屋大学 法政国際教育協力研究センター 准教授
委員 (第一部会)	かねこ よしあき 金子 敬明	名古屋大学 大学院 法学研究科 教授
委員 (第一部会)	なかすじ ゆきこ 中筋 由紀子	愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授
委員 (第一部会)	はぶ みきこ 土生 未来子	弁護士
委員 (第一部会)	みずの まさる 水野 大	公認会計士
委員 (第二部会)	なかい けんたろう 中井 健太郎	名古屋大学 大学院 工学研究科 准教授
委員 (第二部会)	よしの まもる 吉野 守	弁護士
- 配布先
中部地方整備局記者クラブ
- 問い合わせ先
中部地方整備局
主任監査官 鈴木 秀一 TEL052-953-8113

表 1

令和5年度 中部地方整備局入札監視委員会
第一部会 第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和5年8月8日（火） 14時15分～16時00分 名古屋合同庁舎第2号館 3階 共用大会議室	
部会長の選出及び部会長代理の指名	委員の互選により部会長が選出され、部会長により部会長代理が指名されました。	
委員	部会長：藤田 素弘（名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授） 部会長代理：土生 未来子（弁護士） 委員：金子 敬明（名古屋大学 大学院 法学研究科 教授） 中筋 由紀子（愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授） 水野 大（公認会計士） （委員は五十音順）	
審議対象期間	令和4年10月1日～令和5年3月31日	
抽出案件	総件数 9 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式 （ W T O ）	1 件	
一般競争入札方式	2 件	
【建設コンサルタント業務等】		
一般競争入札方式	1 件	
簡易公募型 プロポーザル方式	3 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
一般競争入札方式 （ W T O ）	1 件	
一般競争入札方式	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	なし	

表 2

抽出事案一覧表

(期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日)

【工事】

番号	工事名	工種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
1	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事) 令和4年度 一般県道松原芋島線川島大橋鋼上部工事	鋼橋上部	6	6	R5.2.3	令和4年度一般県道松原芋島線川島大橋鋼上部工事IHI瀧上特定建設工事共同体	3,582,579	92.08	岐阜国道事務所(本官契約)
2	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和4年度 247号西知多道路PH5橋脚工事	一般土木	1	1	R5.2.6	矢作建設工業(株)	327,800	99.96	愛知国道事務所(分任官契約)
3	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和4年度 長島ダム流木災害復旧工事	維持修繕	2	2	R5.2.7	(株)神田組	42,790	99.74	長島ダム管理所(分任官契約)

【建設コンサルタント業務等】

番号	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
4	(一般競争入札方式) 令和4年度 設楽ダム希少魚類飼育繁殖業務	土木コンサル	1	1	R4.10.28	いであ(株)	56,100	95.15	設楽ダム工事事務所(分任官契約)
5	(簡易公募型プロポーザル方式) 令和4年度 柿田川自然再生事業検討業務	土木コンサル	1	1	R5.3.13	令和4年度 柿田川自然再生事業検討業務リバーフロント研究所・エコ設計共同体	35,310	99.81	沼津河川国道事務所(分任官契約)
6	(簡易公募型プロポーザル方式) 令和4年度 木曾三川河道計画検討業務	土木コンサル	1	1	R4.10.31	(株)建設技術研究所	55,000	100.00	木曾川下流河川事務所(分任官契約)
7	(簡易公募型プロポーザル方式) 令和4年度 木曾川水系河川整備検討業務	土木コンサル	1	1	R4.12.1	(株)建設技術研究所	22,000	100.00	木曾川上流河川事務所(分任官契約)

【役務の提供等及び物品の製造等】

番号	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
8	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象業務) 令和4年度 小里川ダム機械設備保守業務	役務の提供等	1	1	R5.3.13	(株)施設技術研究所	26,400	98.12	庄内川河川事務所(分任官契約)
9	(一般競争入札方式) 令和4年度 天竜川上流工事台帳及び重要水防箇所図面等更新作業	役務の提供等	1	1	R4.10.6	(有)クラタ	4,015	97.59	天竜川上流河川事務所(分任官契約)

表 3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 報 告	
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④談合情報等の対応状況 ⑤指名停止等の運用状況一覧表 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑧一者応札の発生状況 ⑨不調・不落の発生状況 ⑩高落札率の発生状況	
	意見・質問
	回 答
	なし

(2) 審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件名	意見・質問	
回 答		
1. 令和4年度 一般県道松原芋島線川島大橋鋼上部工事	技術提案のテーマが、防食性向上対策であるが、発注する際に、どのような提案を想定していたのか。	塗装に関する提案、その他さび防止の提案などを想定していた。
	加算点の評価項目にある「賃上げ実施」について、事業者はどのように証明すると加算されるのか。	対前年度または前年比で、給与の受給される1人当たりの平均受給額を何%以上増加させるという評価基準があり、その旨を記載した表明書を提出した者に加算している。 賃上げの確認は、後日、税務署へ提出する「法人事業概況説明書」などの書類を提出してもらい審査することとなる。 評価の対象として、外注や派遣社員など一時的な労務費や役員報酬を除くなど、継続雇用している従業員のみとする場合には、税理士等により確認できる書類を提出することとなる。
	施工体制の評価が、各者とも良いが、安全性に重視した基準で評価しているのか。	調査基準価格以上の価格で入札した者は、施工体制が十分に確保されないと認める場合に限り、満点から減点する評価方法となっている。本件では、全者において減点すべき事実が無かったため、すべて満点となっている。
2. 令和4年度 247号西知多道路PH5橋脚工事	競争参加資格申請が、なぜ1者だったのか。	入札関係書類を入手して競争に参加しなかった者に聞き取ったところ、工事開始が年度末の設定であることから、技術者の確保が困難だったと回答を得ている。
	評価項目で「技術者の能力」の加算点が低いが、問題はないのか。	この項目は加点要素の評価であります。 競争参加資格で定められた資格や経験をもった技術者であれば、問題ありません。
	加算点項目の「賃上げ実施」において、加算点とマイナスの記載があるがその意味とは何か。	加算点は、賃上げを表明している者に付与します。 マイナスは、賃上げを表明した者が、賃上げ基準に達していない場合や制度の趣旨を意図的に逸脱していると判断された場合に、減点の措置を実施するものです。 この制度は、令和4年度から開始しており、賃上げ表明をした翌年度の状況で判断するため、この工事が発注された時点では、マイナスとなる企業は無い。 現在、企業から提出された書類のチェックが行われているところ。
3. 令和4年度 長島ダム流木災害復旧工事	2者の入札参加者のうち、1者が2回目の入札で辞退をしているが、その理由は何か。	水面上で流木を処理するという作業に加え、山間地域という現地の条件の厳しさ等から、企業の利益を確保することが難しいと判断し辞退したと思われる。
	結果として2者しか入札に参加していないが、地域要件を拡げることは、考えられないか。	今回の発注における地域要件で、参加可能者数は、76者確認されている。 今後、このような状況が続けば、地域要件を拡げることを検討する必要があると考えている。
	1回目の入札結果で2者とも予定価格を超えていたが、2回目では予定価格以下となった。発注者から入札参加者への説明があるのか。	説明は、行っていない。

抽出案件名	意見・質問	回 答
4. 令和4年度 設楽ダム希少魚類飼育繁殖業務	「参加意思」の提出者が1者のみである。もともとこの者しか参加できない業務なのか。	貴重種の魚類の保全対策に関する知見のある者であれば、誰でも参加できると考えている。
	同じ事業者の受注が続いている。他者が入る余地がないのではないかと。他者が参加できる今後の工夫はあるのか。	過年度から、参加者の拡大のため、参加資格要件の緩和に取り組んできたところである。今後においても多くの者が参加できるように、業務のコンパクト化を図り、マニュアルに沿って業務が実施できる工夫を重ねていきたいと考えている。
5. 令和4年度 柿田川自然再生事業検討業務	配置予定技術者の資格において、20年以上の実務経験を求めているが、ハードルが高く、他者が入れないのではないかと。結果としては、1者しか参加していないが、該当する資格をもっている者はいたのか。	技術者の資格については、一般的な要件としている。また、記載しているすべての資格ではなく、いずれかの資格があれば良いとしている。事前の調査で、42者を確認している。
	技術点評価結果において、企画提案書の評価が満点に満たないが、何が足りなかったのか。また今回のように、評価対象が1者の場合に、評価点数が低い企業だったときにはどうするのか。	企画提案書は、的確性、実現性、独創性などの観点で評価をするが、特に秀でた提案ではなかったということになる。企画提案書の評価において、満点に対し、60%に満たない評価値だった場合には、原則、契約の相手方とはしない。
	同じ業者が受注しているが、他の業者に変わることはあるのか。	他の業者でも受注することは、可能となっている。
	翌年度も同じ業務発注となるようだが、12月から3月は、なぜ履行期間に入らないのか。	冬の期間は、自然再生に関する検討を行っており、いろいろな分野の方から意見をいただき、次年度の計画を立てることとしている。
6. 令和4年度 木曾三川河道計画検討業務	一者応札となっている理由は何か。実際に入札関係資料を入手した者は、何者いるのか。	この業務を受注するには、川の特性を把握する時間やそのための技術者の確保が難しいという話を聞いている。入札関係資料を入手しているのは、29者です。
	同じ事業者が受注していることへの対策は考えているか。	企業の参加要件、業務実績に関して、緩和することを検討している。
7. 令和4年度 木曾川水系河川整備検討業務	同じ事業者が受注しているが、他の事業者が受注することは難しいのか。	木曾川水系の対象の河川は、膨大な延長とともに、多様な特性があるため、新規に参入することは難しいと考えているのではないかと。
8. 令和4年度 小里川ダム機械設備保守業務	同じ事業者が受注しているが、その考えられる理由とは何か。	考えられる理由としては、3点推察される。 1点目は、ダムのゲート施設の保守は、高い技術力が必要であること。 2点目は、年間を通して、昼夜を問わず、異常個所の臨時点検等の業務があること。 3点目は、履行箇所が山間僻地であること。
9. 令和4年度 天竜川上流工事台帳及び重要水防箇所図面等更新作業	工事台帳を、毎年見直す必要があるのか。また、河川の流域全体について、パトロールしているがどのような作業なのか。	現地と図面との不一致は、通常業務に支障が生じる場合があり、最新のものにしておく必要があることから、毎年見直しを行っている。点検要領に基づき重要水防箇所の現地をパトロールし、最新の状況を確認している。